

長岡の昭和橋工事に係る状況と反省を踏まえて

Q 工事の進捗状況と完成時期について

A 市答弁 現在は、橋桁の工場製作も完了しており、本年12月上旬から工事を再開し、令和7年8月には完成して2学期からは通行できるよう工事を進めている状況です。



令和7年3月時点の昭和橋



完成された長岡の昭和橋(8月31日)

住民の皆様のご希望の通り道幅が広くなり、フェンス、カーブミラーが設置されました。

また山東小学校のご尽力により、児童がお書きになった習字を橋銘盤とし、4角に設置されました。



Q 工事での教訓は

A 市答弁 公共事業を実施するにあたりましては、現道での工事においては、どうしても通行止めや片側通行などの通行規制が必要となります。そのため、周辺住民の方々には、ご迷惑やご不便をお掛けすることとなりますが、歩行者や自転車また車両の安全な交通確保、また通学路としての安全確保など安心安全な道路整備について、ご理解とご協力をいただきながら進めています。

また、工事を実施するにあたりましては、地域の実情の把握に努め、周辺住民の方々にはなるべくご迷惑やご心配をお掛けすることがないように、事前に協議や調整また説明などを丁寧に進めていきたいと考えています。

なお、このたびの昭和橋架け替え工事のように長期間の通行止め、特に通学路変更が伴う場合には、事業が具体化した時点で、関係者に事業概要などを十分な周知期間をとったうえで説明を行い、その後もこまめな情報提供に努め、安全確保を第一優先に事業を進めてまいります。

近江長岡駅の活性化について

Q 無人化による問題点は

A 市答弁 JR東海では、将来の労働力人口の減少に対応するとともに、最新技術を活用した、より安全で、より便利で、より快適な鉄道サービスを効率的に提供することを目指し、平成25年10月1日から愛知県の武豊・大府間を運行する武豊線で遠隔管理システムを初めて導入し、順次導入駅の拡大に取り組まれてきました。令和6年2月1日には、東海道本線沿線の近江長岡駅をはじめ、垂井駅、穂積駅、稲沢駅、枇杷島駅など、名古屋駅から西の駅のうち、大垣駅、岐阜駅、尾張一宮駅を除く全9駅で遠隔管理システムが導入されました。

近江長岡駅の利用者に対する対応は、JR東海において実施していただくものと考えていますが、駅構内における急病人の発生など、突然のアクシデントが発生した場合の対応を懸念しています。JR東海には、特に人命にかかわる対応を含め、市民が安全で安心して利用していただける駅として管理していただくよう要望してまいります。

Q 地域活性化を目的とする喫茶店・カフェルミエのボランティアの方や喫茶されている方、電車を待つ方のために、駅入口の扉を自動的に閉まるように改善できないか

A 市答弁 近江長岡駅は、駅舎全体がJR東海の所有物であるため、JR東海判断による施設管理が行われています。ご提案いただいた「自動で閉まる扉」など、駅利用者の待合環境の向上についてJR東海と協議し、必要に応じて対策を要望してまいりたいと考えています。

米原市経済の発展と所得拡大について (小問9つから2問を抜粋)

Q 米原市経済好循環の為に観光業で取り組むべきことは

A 市答弁 米原市内の宿泊施設は、近隣の長浜市や彦根市と比べて少なく、日帰り観光が多い状況です。しかしながら、観光ニーズの多様化により、市内では空家や古民家を活用したゲストハウスの開業が増え、特に若い世代や外国人観光客に人気があります。ほかにも、ペンションやコテージ、グランピングなどの多様な宿泊施設があることから、ふるさと納税の返礼品にこれら宿泊施設の利用を取り揃えるなど、宿泊観光の促進を図っています。

また、滞在時間の延伸は、観光消費額の拡大が期待でき、地域経済の活性化に繋がるものと考えています。本市では、観光地域づくり団体である一般社団法人びわ湖の素DMOと連携して、徳源院の桜や醒井の梅花藻のライトアップなど、ナイトタイムを活用した観光イベントの創出により、「夜間」の観光による滞在時間の延伸に加えて観光資源の新たな魅力の発信を行いました。今後も宿泊観光や夜間の観光の促進・PRを行い、観光による地域および経済の活性化に努めていきたいと考えています。

Q 観光業を促進させて所得を拡大できないか

A 市答弁 観光による波及効果は、観光客への商品やサービスの提供による直接的な経済効果だけではなく、提供する商品の生産事業者や、雇用される方の所得など、関連業種や関係者への様々な好影響があるものと認識しております。また、市内を訪れる観光客が多くなることで、地域の賑わいや活性化にもつながることが期待されます。



そのため、観光戦略の一つとして、今年度は、多くの観光スポット巡りや観光体験、飲食店等をご利用いただくことで観光による波及効果を高めるため、市内周遊観光キャンペーンを実施します。このキャンペーンは、一般社団法人びわ湖の素DMOに委託し、市内観光事業者等にご協力をいただきながら、キャンペーン特典を設け、市内周遊観光を楽しんでいただく取組で、今月の6月下旬から11月まで実施するものです。この間、大阪・関西万博や国スポ・障スポの開催もあり、多くの観光誘客ができるよう、SNSなどを活用して様々なPRしてまいります。

強い経済のもとで、より強い施策をより広いターゲットへ!

私が壇上から語ったこと

いろんな分野があります。例えば、教育、子育て、医療、介護、高齢化、農業、人口、公共交通、公共施設など、他にもたくさんあると思います。私が「経済」をテーマにしてやらせて頂いた動機には、今申し上げた各種の施策を考える時に、「富」があれば、より強い施策をより広いターゲットに対して打っていけると言う考えからです。昨年12月に学校給食の無償化を取り上げましたが、年間1億7千万円が必要となり、何かの施策を諦めるぐらいの決断が必要と答弁を頂きました。しかしながら東京23区ではどこでも、それを実現しています。「経済力の差」と思います。



米原市のこれからの将来、5年後、10年後、あるいは20年後に、強い経済のもとで、農業、教育、子育て、医療、介護など色んな施策を実施できるようにしていかなければならないと思っています。今生まれた子どもたち、こども園、小学校、中学校、高校、大学に通うこれからの担う子どもたち、そして高齢者や働く人たち、市民が楽しく安心して住める米原市にという思いからです。「経済」を強くすることは将来の米原市の命運を握っていると思っています。

旧山東幼稚園の跡地利用について

Q 子どもたちの絆、保護者の絆、地域の絆の為に、米原市内全域の子育て世代にとって、「また来たい」と誰もが喜ばれる施設に向かって今取り組んでいて下さるとの認識で良いか

A 市答弁 今般の利活用については、幼稚園の在り方検討委員会の答申等に基づき進めており、今般のヒアリングによる民間事業者の意見等を踏まえ、可能な限り市全体の子育てに資する事業構築を目指してまいります。

Activity 5月からの活動の一端を紹介します!



2025/5/17 いぶきハーブガーデンでカモミール摘み取り体験



2025/5/26 湖北地域消防本部米原消防署竣工式典



2025/6/7 天の川ほたる祭り



2025/6/14 部活動の地域移行シンポジウム



2025/7/19 息吹の森・夏祭り2025